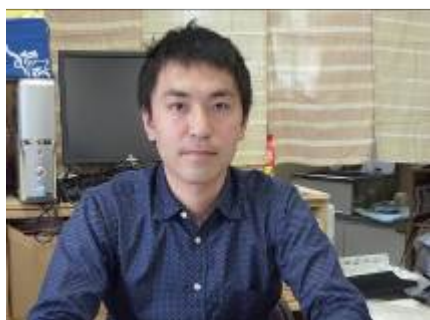


復興に駆ける！

第11号
平成25年8月5日発行
岩手県立生涯学習推進
センター

NPO法人プラス・アーツ東京事務所 事務局員 百田 真治さん



お話を聞かせてくれた百田さん

NPO法人プラス・アーツは、2006年、神戸市で設立された。阪神・淡路大震災から10年が過ぎて、震災の風化が進み、「防災訓練を行っても、出てくるのはいつも決まった方ばかり」「若い親子の参加が見られない」「訓練の方法がいつも同じで形骸化している」等の問題が出てきた。このような状況に危機感を感じた兵庫県と神戸市からの依頼を受け、2005年に独自の防災訓練プログラムを考え実施した。

これを多くの地域に広めていくべく法人化を行った。

「イザ！カエルキャラバン」と名付けられた防災訓練プログラムは、各家庭でいらなくなったおもちゃを物々交換するという「かえっこバザール」に、ゲーム感覚で楽しみながら学べる「防災体験プログラム」をプラスしたものである。このキャラバンの素晴らしい点の一つは、ポイント制の仕組みである。工夫を凝らした防災プログラムに参加すると、ポイントが貰える。子どもたちは、ポイントをためるために、様々なプログラムに参加する。おもちゃ獲得を目的として参加していたのに、繰り返し防災プログラムに参加するうちに、消火器の使い方や、紙食器の作り方など防災の知識を身に付けてしまうのである。運営方法も工夫されている。初回の開催については事前研修会を開き、プラス・アーツのスタッフが運営ノウハウを丁寧に地域のボランティアの方々に教えながらサポートする。そして、次回からは、ボランティアの方に中心となって運営してもらおうというのである。そうすることで、スタッフに頼らずに定期的な開催が可能となり、地域に根ざしたイベントになるだろうという、長期的な視野に立った考えである。

7月9日に当センターで行われた「復興支援セミナー」では、ワークショップの講師として、新聞紙でできる紙食器の作り方、身の回りにあるものでできる応急手当などを教えていただいた。

「岩手でも、子どもたちを元気にするために開催したいという地域があれば、喜んで協力させていただく」と力強く語った。

連絡先

NPO 法人プラス・アーツ東京事務所
TEL 03-5655-2369
Email:tokyo@plus-arts.net